

令和3年度 第2回山形のみちづくり評議会

日時：令和4年2月9日（水）

14:00～15:00（Web開催）

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

議題1 令和2年度 道路事業の達成度報告

資料1

議題2 通学路の交通安全対策について

資料2

議題3 「山形南道路」の新規事業化に向けた取り組みについて

資料3

4 閉 会

令和3年度 山形のみちづくり評議会委員名簿

	氏 名	役 職	地 区	出 欠
会 長	柴田 洋雄	山形大学名誉教授	全 県	○
委 員	貝山 道博	埼玉大学名誉教授 東北文化学園大学名誉教授	全 県	○
	大泉 謙	NHK山形放送局 局長	全 県	○
	塩原 未知子	有限会社テンプレス アートディレクター	村山地域	○
	津藤 真知子	株式会社もがみ物産協会 代表取締役	最上地域	○
	宮原 博通	株式会社 和のくらし文化研究所 代表取締役	置賜地域	○
	池田 真知子	海辺のお宿 一久 若女将	庄内地域	-
	佐藤 香奈子	酒田みちみらい女性の会 副会長	庄内地域	○
	芹沢 尚一	東日本高速道路株式会社東北支社 山形管理事務所 所長	全 県	○
	橋本 裕樹	国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所 所長	全 県	○
	前内 永敏	山形県県土整備部 部長	全 県	○

(敬称略)

令和2年度 達成度報告書

山形県県土整備部道路整備課
道路保全課
都市計画課

令和4年2月9日

1 山形県道路中期計画について

2 9つのみちづくり施策の達成状況

1. 県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・
機能強化と未事業化区間の着手 3
2. 広域道路ネットワークを活かす追加 IC（スマート IC 含む）
及び IC や拠点へのアクセス道路の整備推進 7
3. 高速道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援 12
4. 防災・減災に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化 15
5. 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進 24
6. 予防保全型維持管理などによる計画的な道路施設の
長寿命化と効率的な道路維持管理の推進 28
7. 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進 33
8. 街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進 37
9. 山形の特性を活かした道路ストック（施設）をかしこく使うみちづくりの推進 40

3 総括

1 山形県道路中期計画について

■みちづくりの方針と施策

3つの柱

(活力創造・広域交流促進)

1 県内産業や観光の振興を支える
社会基盤となるみちづくり

(安全・安心・保全・協働)

2 災害を未然に防止し安全・安心に
利用できるみちづくり

(地域活性化・快適・効率化)

3 既存ストックを有効活用し快適な
暮らしと地域の活力を生み出す
みちづくり

9つの施策

① 県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手

② 広域道路ネットワークを活かす追加 IC (スマート IC 含む) 及び IC や拠点へのアクセス道路の整備推進

③ 高速道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援

④ 防災・減災に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化

⑤ 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進

⑥ 予防保全型維持管理などによる計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進

⑦ 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進

⑧ 街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進

⑨ 山形の特性を活かした道路ストック (施設) をかしこく使うみちづくりの推進

■施策の進め方

本計画に位置付けたみちづくりの施策の推進にあたっては、PDCA サイクルの考えに基づき、政策指標の達成状況や事業進捗状況を考慮し、取り組みを評価します。

社会情勢や財政状況の変化に的確に対応するため、広く県民、県議会、市町村、道路利用者からの意見を求めながら、概ね5年を目途に計画の見直しを行います。



2 9つのみちづくり施策の達成状況

1 県内産業や観光の振興を支える社会基盤となるみちづくり

施策1

県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手

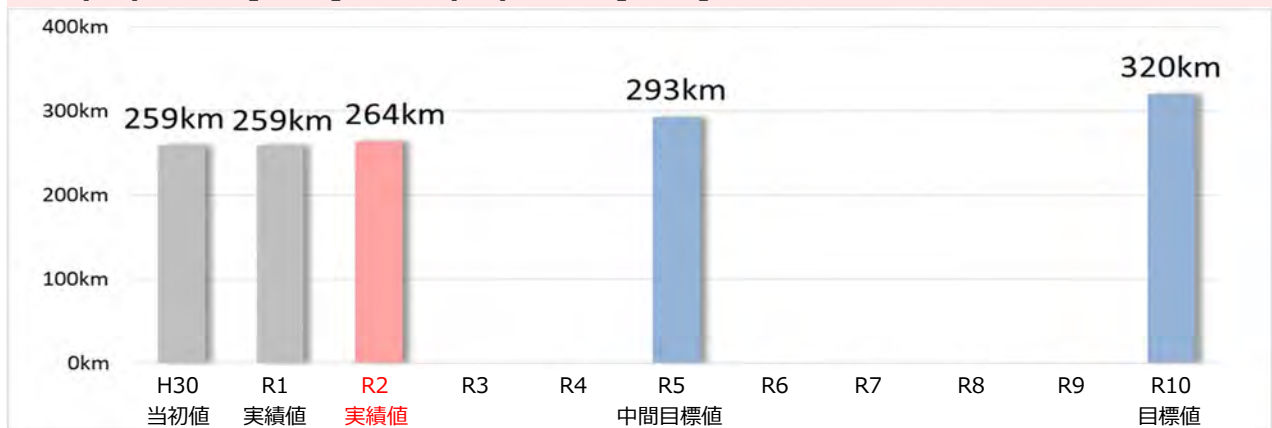
■取組方針

- i) 高速道路網の事業区間の整備、計画区間の新規事業化及び更なる利便性向上に向けた検討を促進
- ii) 「重要物流道路(基幹道路)」の整備促進及び国際海上コンテナ車の通行に対応した構造 不適合箇所・ぜい弱箇所の機能強化の促進
- iii) 高速道路網や幹線道路の重大事故の防止を図る効果的な交通安全対策の促進

■指標

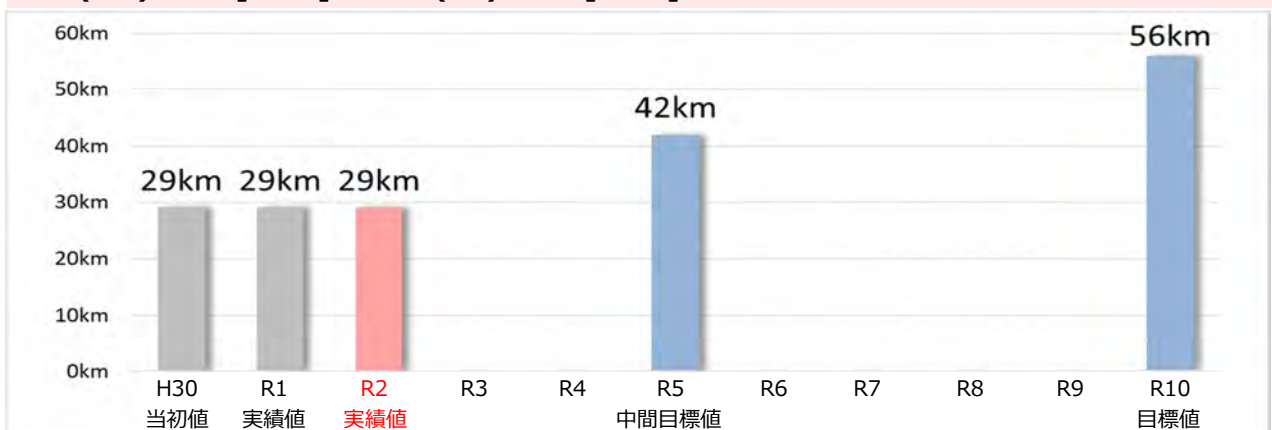
(1) 高速道路の供用延長[供用率] ※全線供用時約 340km

(R1)259km[76%] ⇒ (R2)264km[78%]



(2) 地域高規格道路の供用延長[供用率] ※全線供用時約 100km

(R1)29km[29%] ⇒ (R2)29km[29%]



事例1

日本海沿岸東北自動車道
酒田みなとIC～
遊佐烏海IC
L=12.0km



▲山形県内の事業中の高規格幹線道路・地域高規格道路 (R3.3.31 現在)

■実施事業例1

事業名	日本海沿岸東北自動車道 ^{さかた} 酒田みなと～ ^{ゆざ} 遊佐（ ^{さかた} 酒田みなと IC～ ^{ゆざちようかい} 遊佐鳥海IC）
事業概要	<p>日本海沿岸東北自動車道は、新潟市を起点として鶴岡市、酒田市、秋田市を経て青森市に至る延長約 322 kmの高規格幹線道路である。</p> <p>酒田みなと～遊佐は、災害時のリダンダンシーの確保、広域的な連携・交流の促進等に寄与するもので、R2.12.13 に、酒田みなと IC～遊佐比子 IC が開通した。</p>
整備内容	<p>○日本海沿岸東北自動車道の一部 L=5.5km、W=13.5m（暫定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒田みなと IC～遊佐比子 IC（令和 2 年 12 月 13 日開通） ・遊佐比子 IC～遊佐鳥海 IC（令和 5 年度開通予定） <p>（整備前）</p>  <p>（開通直前）</p>  <p>出典：酒田河川国道事務所</p>

■実施事業例2

事業名	国道 113 号 ^{りんごう} 梨郷道路（ ^{ながいしいまいずみ} 長井市今泉～ ^{なんようしたけはら} 南陽市竹原）
事業内容	<p>梨郷道路は、地域高規格道路「新潟山形南部連絡道路」の一部を構成する自動車専用道路である。</p> <p>国道 113 号の適正な交通分担と物流機能強化、高次医療施設へのアクセス性の向上等を目的として整備を行う。</p>
整備内容	<p>○新潟山形南部連絡道路の一部 L=7.2km、W=12.0m（令和 5 年度開通予定）</p>  <p>▲事業区間周辺（航空写真）</p> <p>出典：山形河川国道事務所</p>

■達成状況と今後の取組み

	路線名 (): 県内延長	R2まで 供用済	整備促進・供用を目指す区間 【】: 開通予定	新規着手を 目指す区間
高速道路	東北中央自動車道 (約 157km)	供用済 123km	事業中 34km ・村山本飯田～大石田村山 【R3】 ・東根北～村山本飯田【R4】 ・泉田道路【R4】 ・新庄金山道路【R7】 ・真室川雄勝道路	
	日本海沿岸東北 自動車道 (約 53km)	供用済 31km	事業中 22km ・遊佐比子～遊佐鳥海【R5】 ・遊佐象潟道路【R8】 ・朝日温海道路	
	東北横断 自動車道酒田線 (約 131km)	供用済 110km		未着手 21km ・月山～湯殿山 ・(仮) 庄内内陸 月山連絡道路
地域高規格道路	新庄酒田道路 (約 50km)	供用済 21km	事業中 20km ・新庄古口道路【R4】 ・高屋道路【R6】 ・高屋防災 ・戸沢立川道路(R3 新規事業)	未着手 9km ・高屋～草薙 ・立川～余目
	新潟山形南部 連絡道路 (約 50km)	供用済 7km	事業中 18km ・梨郷道路【R5】 ・小国道路	未着手 25km ・小国～長井
	石巻新庄道路 (約 30km)			未着手 30km ・石巻～新庄
追加IC・スマートIC	東北中央自動車道	・米沢中央 IC ・東根北 IC ・大石田村山 IC	・村山本飯田 IC【R3】 ・村山名取 IC【R3】 ・山形 PA スマート IC (仮称) ・高畠スマート IC (仮称) ・天童南スマート IC (仮称) 等	
	日本海沿岸東北 自動車道	・いらがわ IC ・三瀬 IC ・鶴岡西 IC ・庄内空港 IC		

施策2

広域道路ネットワークを活かす追加 IC(スマート IC 含む)及び IC や
拠点へのアクセス道路の整備推進

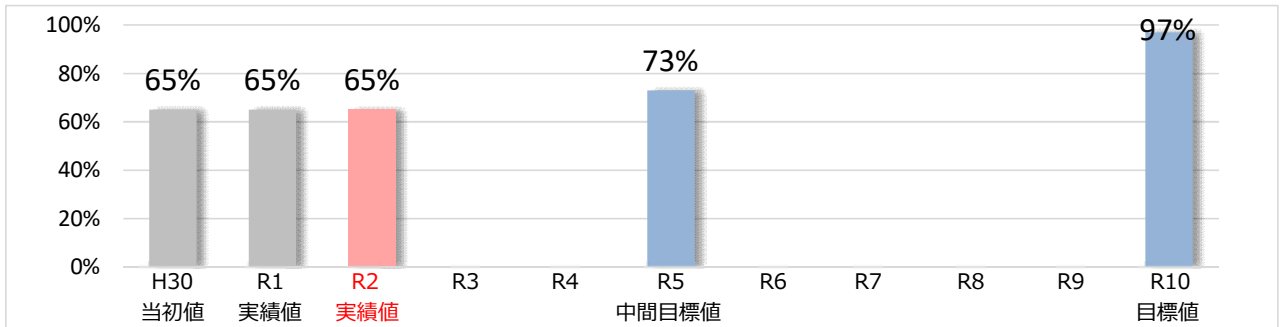
■取組方針

- i) 高速道路を利用しやすい環境整備を図るため、追加 IC やスマート IC の整備を促進
- ii) 高速道路・地域高規格道路の IC に接続するアクセス道路の整備を推進
- iii) 重要物流道路の基幹道路同士や物流拠点を結ぶアクセス路の整備推進

■指標

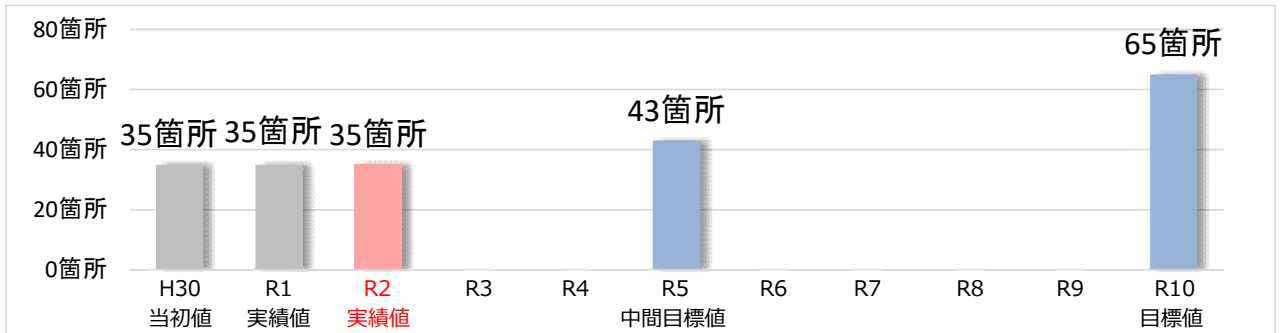
(1)IC へ 30 分でアクセスできる人口の割合

(R1)65% ⇒ (R2)65%



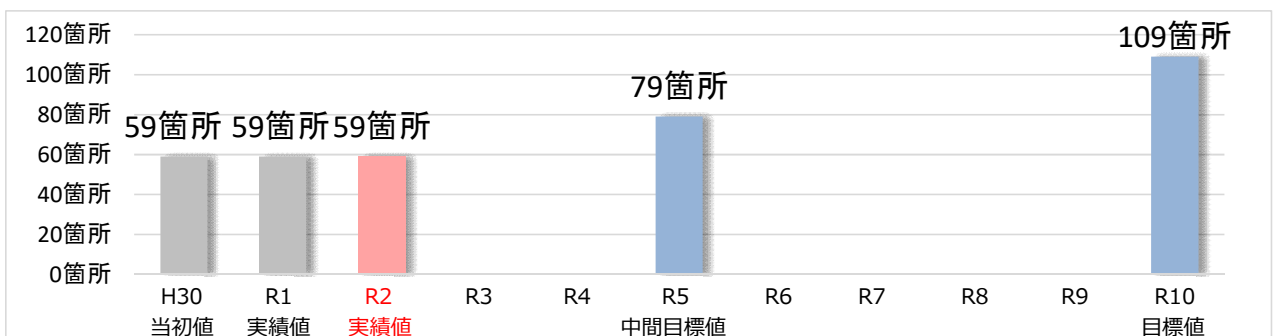
(2)IC へ 10 分でアクセスできる工業団地数

(R1)35 箇所 ⇒ (R2)35 箇所

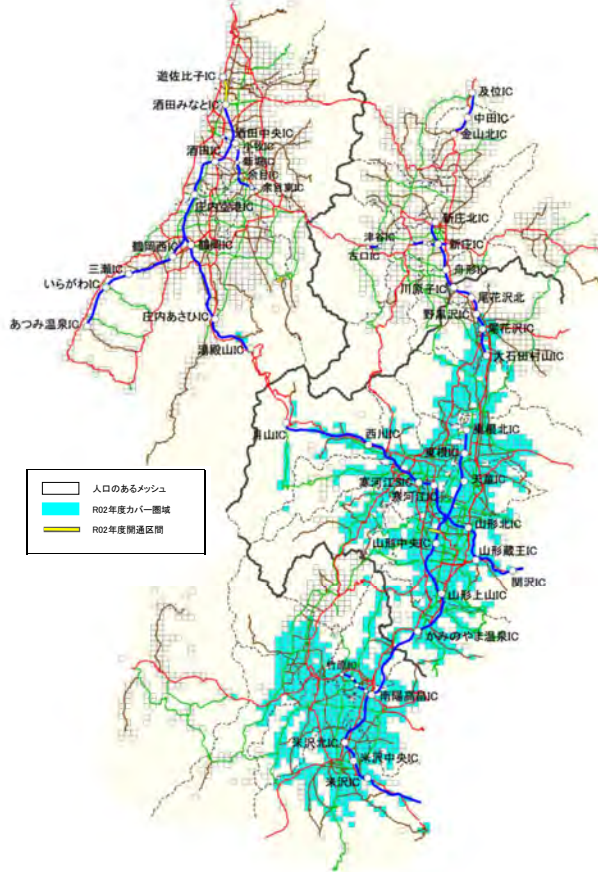


(3)IC へ 30 分でアクセスできる主要な観光地数

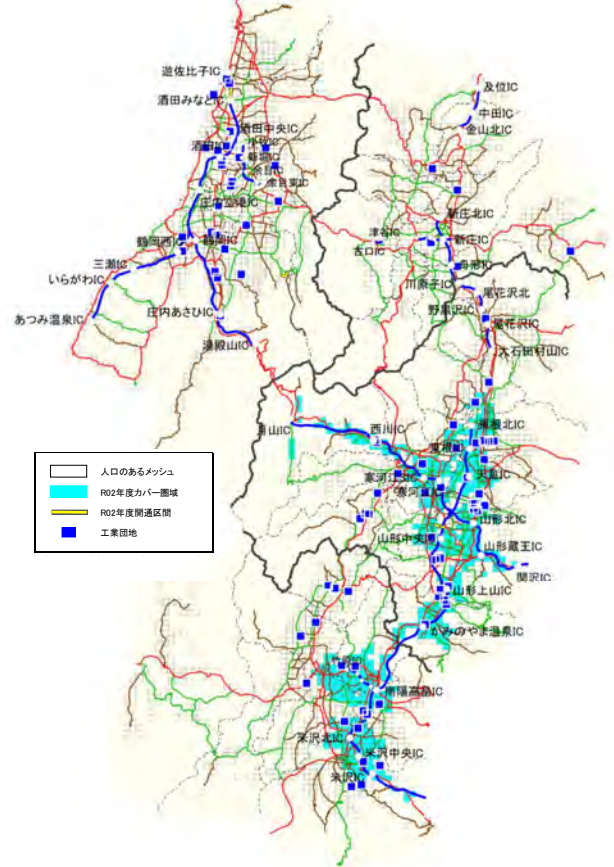
(R1)59 箇所 ⇒ (R2)59 箇所



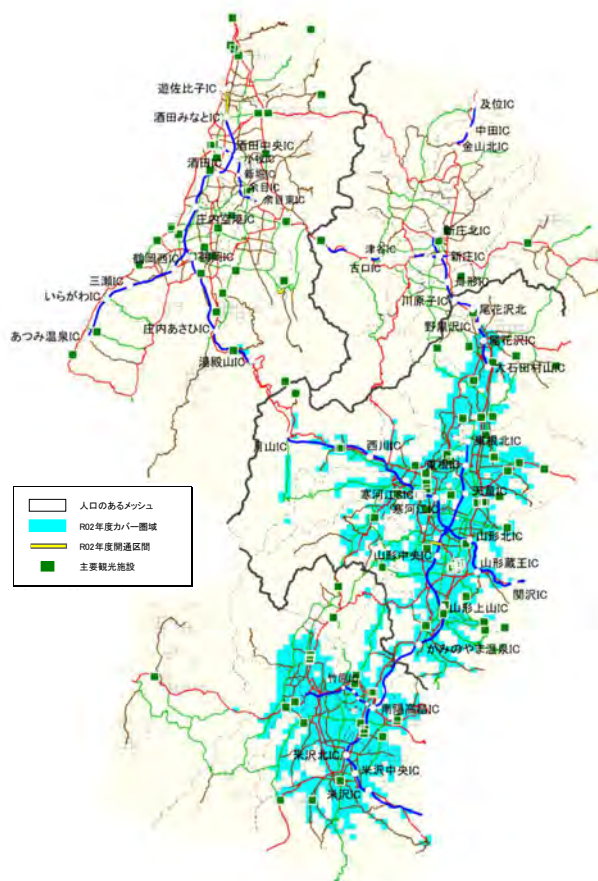
(IC30 分アクセスカバ－圏域※)



(IC10 分アクセスカバ－圏域※と工業団地の位置)



(IC30 分アクセスカバ－圏域※と主要観光地の位置)



※関東と繋がらない高速を除外

▲山形県内の IC カバ－圏域※ (R02 年度末時点)

■実施事業例1

<p>事業名</p>	<p>(主) 余目温海線 (つるおかし あつみ 鶴岡市温海地内)</p>
<p>事業内容</p>	<p>主要地方道余目温海線は、鶴岡市温海地区を横断する幹線道路である。 温海地内は、通学路に指定されているが、幅員狭小で交差点が近接するとともに、日本海沿岸東北自動車道の開通（H24）に伴う大型車の増加により、すれ違いが困難となり、通学児童に危険が生じている。 本事業は JR 高架部の狭小部の拡幅等により、歩道整備や車道の拡幅を行い、日本海沿岸東北沿岸自動車道あつみ温泉 IC へのアクセス性を高めるものである。</p>  <p style="text-align: right;">地図出典： (C) NTT インフラネット</p>
<p>整備内容</p>	<p>○あつみ温泉 IC へのアクセス道路 L=267m、W=5.5(6.5)[7.5]m</p> <p>(整備前)</p>  <p style="text-align: center;">至あつみ温泉 IC</p> <p>(整備後)</p>  <p style="text-align: center;">至あつみ温泉 IC</p>

■実施事業例2

<p>事業名</p>	<p>国道 287 号米沢北バイパス (米沢市窪田町～六郷町) (事業中)</p>
<p>事業内容</p>	<p>米沢市から長井市・寒河江市を經由して東根市に至る国道 287 号は、本県の重要幹線道路であるが、米沢～長井間は、幅員狭小かつ線形不良により慢性的な渋滞、交通事故の発生等、必要な機能を有していないため、H5 年に「米沢長井道路」として新たな広域道路を計画した。</p> <p>本事業はその南端において米沢～川西間を結び、東北中央自動車道米沢北 IC に直結するルートとして、整備するものである。</p>  <p>地図出典：Copyright(c) N T T 空間情報 All Rights Reserved</p>
<p>整備内容</p>	<p>○米沢北 IC へのアクセス道路 L=3,400m、W=6.5(10.5)[20.0]m</p>  <p>H29～下部工施工中</p> <p>▲施工状況 (R2.5 時点)</p>

■達成状況と今後の取組み

【令和 2 年度の達成状況】

路線名	箇所名	事業内容	アクセス先	中期 計画※
(主) 余目温海線	温海工区	アクセス道路整備	日本海沿岸東北自動車道 あつみ温泉 IC	庄内 ⑤

【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	アクセス先	中期 計画※
-----	-----	------	-------	-----------

[村山地域]

(主) 山形天童線	天童市成生～ 東根市羽入	アクセス道路整備	東北中央道東根 IC	村山 ④
(主) 寒河江村山線	村山市河島	アクセス道路整備	東北中央道村山 IC	村山 ⑤
(一) 大石田村山線	村山市名取	追加 I C 整備	東北中央道村山名取 IC	村山 ⑥

など

[最上地域]

(国) 458 号	本合海バイパス	アクセス道路整備	新庄酒田道路	最上 ④
-----------	---------	----------	--------	---------

など

[置賜地域]

(国) 287 号	米沢北バイパス	アクセス道路整備	東北中央道米沢北 I C 新潟山形南部連絡道路	置賜 ③
(国) 287 号	米沢川西バイパス	アクセス道路整備	東北中央道米沢北 I C 新潟山形南部連絡道路	置賜 ④
(国) 287 号	川西バイパス	アクセス道路整備	東北中央道米沢北 I C 新潟山形南部連絡道路	置賜 ⑤

など

※「山形県道路中期計画 2028」における代表事例箇所の番号

施策3

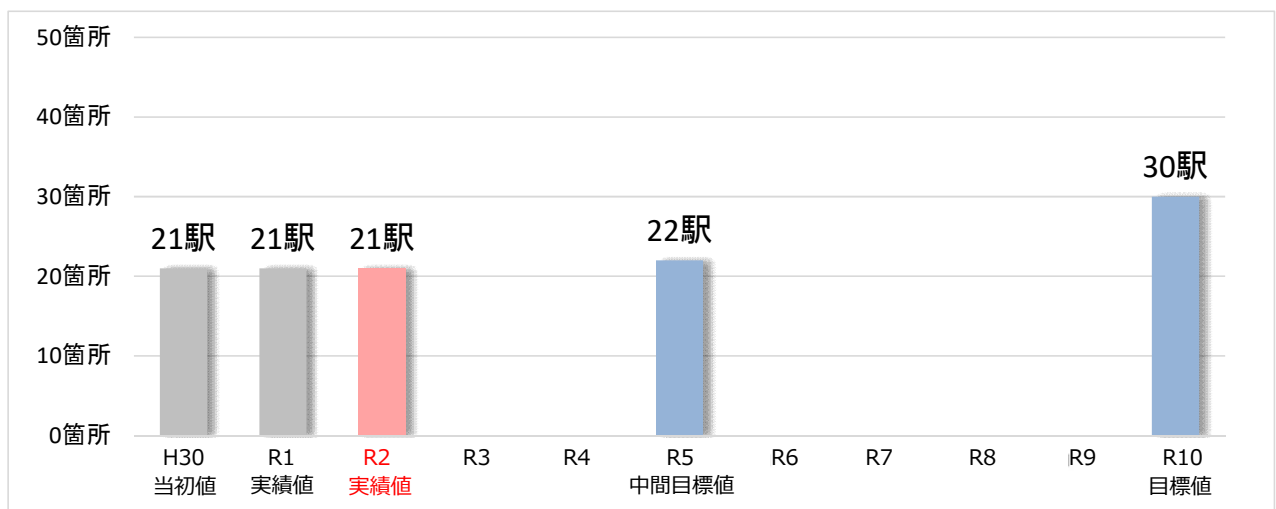
高速道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援

- i) ゲートウェイとなる「道の駅」等の整備促進に向けた市町村の取組を支援
- ii) 公共交通の交通結節点としての機能を持ち、活気あふれる「道の駅」の機能強化を支援
- iii) 地域の防災拠点となる「道の駅」の機能強化と防災機能の周知

■指標

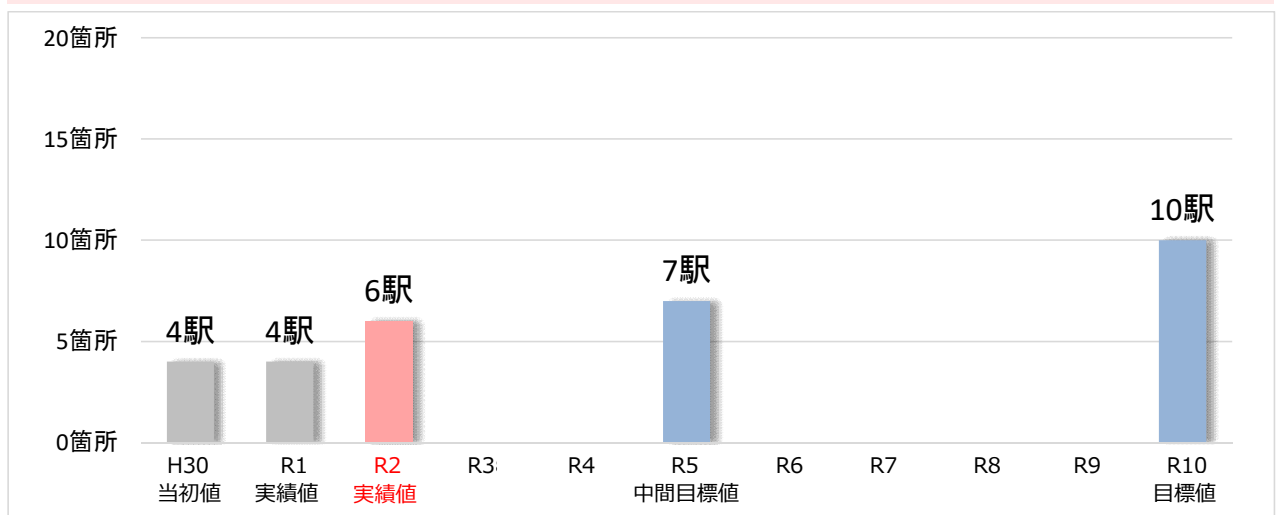
(1)山形らしい魅力のある「やまがた道の駅」数

(R1)21 駅 ⇒ (R2)21 駅



(2)防災拠点機能を備えた「道の駅」数

(R1)4 駅 ⇒ (R2)6 駅



■実施事業例1

<p>事業名</p>	<p>「やまがた道の駅」緊急整備支援事業費補助金</p>	
	<p>以下の事業を対象として補助を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 観光案内に関する施設整備 ② 通行止め、路面凍結等の情報機器の整備 ③ R Vパーク(車中泊専用スペース)の整備 ④ トイレの改修(既設駅のみ) ⑤ 防災設備の整備 ⑥ 自転車に関する施設の整備 ⑦ 子育て支援に関する施設の整備 ⑧ その他の施設の整備 	
<p>事業内容</p>	 <p style="text-align: right; font-size: small;">地図出典：(C) NTT インフラネット</p>	
<p>整備内容</p>	<p>○道の駅「白鷹ヤナ公園」</p>  <p style="text-align: center;">▲Wi-Fi 設置</p>	<p>○道の駅「尾花沢」</p>  <p style="text-align: center;">▲非常用発電機設置</p>  <p style="text-align: center;">▲蓄電池設置</p>

■達成状況と今後の取組み

【令和2年度の実績】

駅名	市町村	事業内容
道の駅「白鷹ヤナ公園」	白鷹町	Wi-Fi 設置
道の駅「尾花沢」	尾花沢市	防災設備の拡充

その他、県内道の駅と観光情報を紹介する「やまがた『道の駅』車旅案内」の企画・配布等、道の駅の情報発信を実施

【今後の取組み】

- ・市町村による「道の駅」の新設や移転に関する取組への支援
- ・山形らしい魅力ある「道の駅」の整備・活性化を支援
- ・防災拠点となる「道の駅」の機能強化と防災機能の住民等への周知
- ・道の駅の情報発信（「やまがた『道の駅』車旅案内」の企画・配布等）

など

2 災害を未然に防止し安全・安心に利用できるみちづくり

施策4

防災・減災に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化

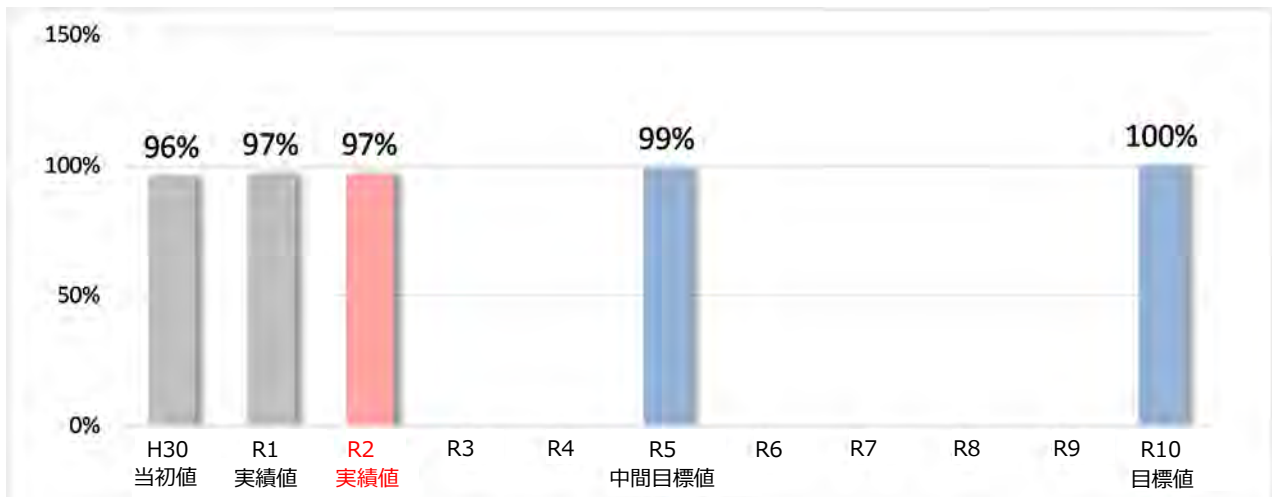
■取組方針

- i) 「緊急輸送道路」や、「重要物流道路」とともに指定される「代替路」や「補完路」及び孤立集落アクセスルート等の橋梁の耐震化等を優先的に実施
- ii) 道路の防災対策を推進
- iii) 豪雨災害等に強い道路ネットワークの整備を推進
- iv) 災害発生時における迅速かつ正確な交通規制・迂回路等の情報提供、孤立解消に向けた迅速な応急復旧等を実施

■指標

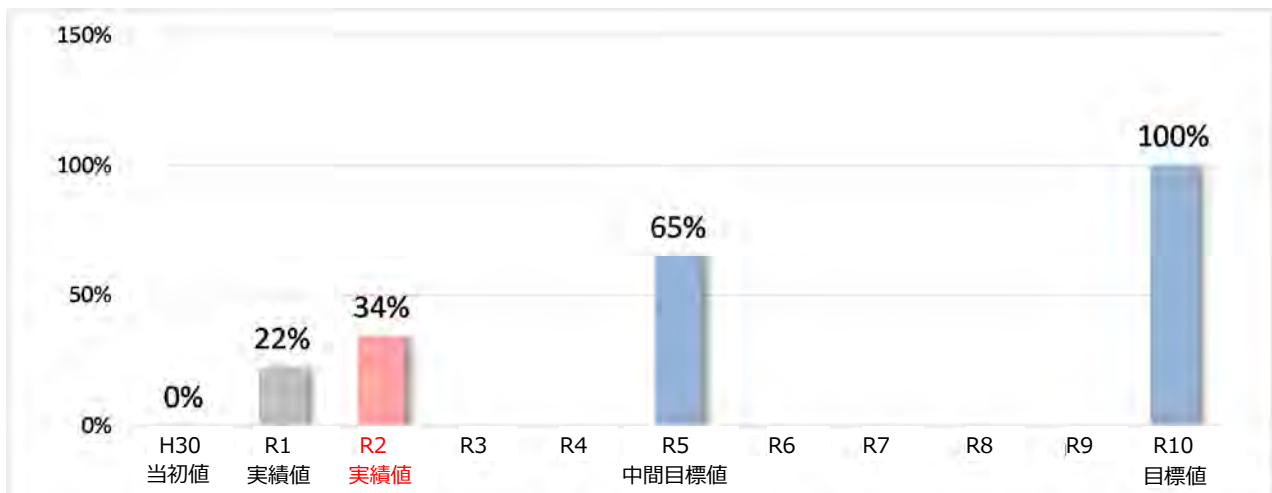
(1)緊急輸送道路における橋梁耐震化率

(R1)97% ⇒ (R2)97%



(2)重要インフラ緊急点検による要対策箇所の対策率

(R1)22% ⇒ (R2)34%



■実施事業例1

<p>事業名</p>	<p>(主) 大江西川線 (大井沢(2)工区) 雪崩予防柵設置 <small>おおいさわ</small> <small>にしむらやまくんにしかわまち おおいさわあざおおほげ にしかわまち おおいさわあざみょうどう</small> 西村山郡西川町大字大井沢字大兀 ~ 西川町大字大井沢字明道地内</p>
<p>事業概要</p>	<p>主要地方道大江西川線は大江町と西川町を結ぶ重要な路線である。 当該箇所は雪崩による通行止めが発生する区間であり、円滑かつ安全な通行が確保されていない。そのため、雪崩を防ぐことを目的として、雪崩防止柵を設置したものである。</p>  <p>地図出典：Copyright(c) N T T空間情報 All Rights Reserved</p>
<p>整備内容</p>	<p>○雪崩予防柵設置 L=275m (令和2年度完了)</p> <p>(整備前)  (整備後) </p>

■実施事業例2

<p>事業名</p>	<p>(国) 458号 ^{かわぐち}(川口工区) 防雪柵設置 ^{もがみくんさげがわむら}最上郡^{かわぐち}鮭川村大字川口 地内</p>
<p>事業概要</p>	<p>国道 458 号は新庄市から鮭川村を経由し上山市を結ぶ路線であり、観光地である肘折温泉へのアクセスルートであるほか、戸沢村の山間部の集落にとっては中心部へ向かうための重要な道路となっている。</p> <p>当該箇所は、毎年吹雪により車両交通に支障をきたしていることから、防雪柵を設置し、冬期間の道路交通の安全確保を図るものである。</p>  <p>地図出典：(C) NTT インフラネット</p>
<p>整備内容</p>	<p>○防雪柵設置 L=260m (令和2年度完了)</p> <p>(整備前)  (整備後) </p>



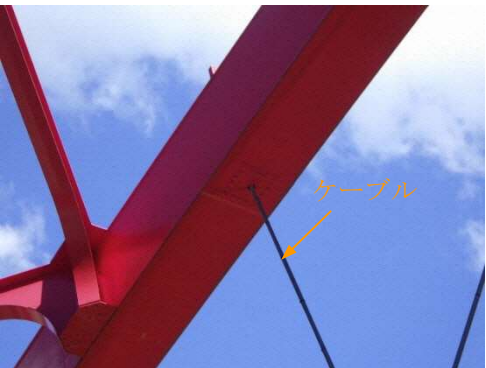

■実施事業例3

<p>事業名</p>	<p>(主) 米沢飯豊線 (玉庭工区) 地すべり対策 <small>たまにわ</small> <small>ひがしあきたまくんかわにしまち</small> <small>たまにわ</small> 東置賜郡川西町大字玉庭地内</p>
<p>事業概要</p>	<p>主要地方道米沢飯豊線は、米沢市と飯豊町を白川ダムを經由して結ぶ重要な路線である。平成 27 年度の道路施設点検にて異常箇所が発見された。当該箇所において、地すべりを防ぐため、法面の保護工事を実施したものである。</p>  <p style="text-align: right;">地図出典：(C) NTT インフラネット</p>
<p>整備内容</p>	<p>○地すべり対策 L=56m (令和 2 年度完了)</p> <p>(整備前)</p>  <p>(整備後)</p> 

■実施事業例4

<p>事業名</p>	<p>(主) 大江西川線 (貫見バイパス) <small>にしむらやまぐんおおえまちぬくみ さわかち</small> 西村山郡大江町貫見～沢口地内</p>
<p>事業概要</p>	<p>主要地方道大江西川線は、大江町と西川町を結ぶ道路であり、沿線には年間約 13 万人が訪れる柳川温泉等の観光地がある。</p> <p>しかし、当該路線は月布川沿いを通過するルートが大部分を占めるため、落雪等対策箇所が多く、最小幅員が 3.5m程度で車両のすれ違い困難な状況である。</p> <p>当該バイパスの整備により、隘路区間を解消するものである。</p>  <p style="text-align: right; font-size: small;">地図出典：(C) NTT インフラネット</p>
<p>整備内容</p>	<p>○バイパス整備 L=1,260m、W=6.0 (8.5) m (令和2年度部分開通)</p> <p>整備前 (落雪危険箇所) 整備後 (全景)</p>  <p style="text-align: center;">至 大江町左沢</p>

■実施事業例5

<p>事業名</p>	<p>(主) 米沢飯豊線 ^{なかつがわばし} 中津川橋橋梁仮復旧 <small>にしむたまんくいいでまちこさか</small> 西置賜郡飯豊町小坂地内</p>
<p>事業概要</p>	<p>主要地方道米沢飯豊線は、米沢市入田沢と西置賜郡飯豊町手ノ子を結ぶ重要な路線である。白川ダムに架かる「中津川橋」は、令和2年7月の点検で落橋の危険性がある重大な損傷が確認されたため、令和2年8月より全面通行止めとなっていた。 本事業は積雪前の12月までに、車両が通行可能となるよう、橋梁の仮復旧を実施したものである。</p>  <p style="text-align: right; font-size: small;">地図出典：(C) NTT インフラネット</p>
<p>整備内容</p>	<p>○橋梁仮復旧 L=234.8m</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>全景</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(整備前)</p>  <p>ケーブル</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(整備後)</p>  <p>鋼棒設置 (補強) 後 鋼製材 (ブラケット) 鋼棒</p> </div> </div>

■達成状況と今後の取組み

【令和2年度の達成状況】

路線名	工区名（箇所）	事業内容	備考	中期計画※
（主）大江西川線	西川町大井沢	雪崩防止柵	事例 1	村山⑨
（国）458号	鮭川村大字川口	防雪柵	事例 2	
（主）米沢飯豊線	川西町玉庭	地すべり対策	事例 3	置賜⑦
（主）大江西川線	大江町貫見	道路改築 (R2 一部開通)	事例 4	村山⑧
（主）米沢飯豊線	飯豊町小坂	中津川橋橋梁仮復旧	事例 5	

など

【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	中期計画※
[村山地域]			
（主）大江西川線	大江町貫見	改築	村山⑧
（国）347号	尾花沢市母袋	雪崩柵	村山⑩
（国）286号	山形市防原町	棒原橋架替	村山⑪

など

[最上地域]

（主）真室川鮭川線	真室川町川ノ内	栗谷沢橋架替	最上⑥
（主）新庄次年子村山線	舟形町堀内	堀内橋架替	最上⑦
（主）雄勝金山線	金山町有屋	落石防護	最上⑧
（主）戸沢大蔵線	戸沢村古口	雪崩予防施設	最上⑨
（主）新庄戸沢線	新庄市松本	流雪溝	最上⑩

など

[置賜地域]

（国）287号	川西町時田	防雪柵	置賜⑧
（主）米沢飯豊線	飯豊町高峰	雪崩柵	置賜⑨

など

[庄内地域]

（一）余目松山線	庄内町提興屋～酒田市竹田	庄内橋架替	庄内⑦
（一）藤島羽黒線	鶴岡市羽黒町戸野	防雪柵	庄内⑪
（国）344号	酒田市北青沢	雪崩対策	庄内⑫

など

※「山形県道路中期計画 2028」における代表事例箇所の番号

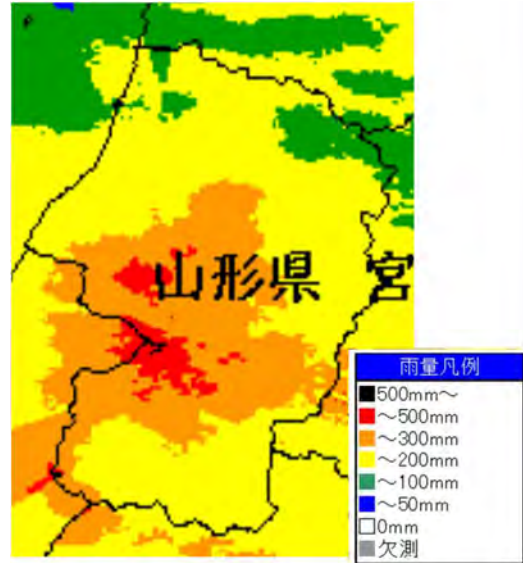
■令和2年7月豪雨における対策状況

降水・出水状況

山形県内では、令和2年7月27日～29日にかけて、梅雨前線の影響で非常に激しい雨が降り、累加雨量は多いところで300mmを超える大雨となった。

降雨は山形県内陸部に集中しており、村山地方では、国土交通省の長崎水位観測所（最上川水系最上川）で16.22mなどと、羽越水害（昭和42年8月）を超える観測史上第1位の水位を記録した。

最上川では、堤防からの越水が4箇所（村山市1箇所、大石田町2箇所、大蔵村1箇所）、溢水が3箇所（新庄市、大石田町、大江町）発生した。



7月27日9時～29日9時までの48時間の累計

▲雨量レーダ累加降水量

大雨による土砂流出により、県内では90箇所の道路で被害が発生した。

道路の被害状況

山形県 道路施設の被害状況【災害査定申請箇所(予定)】 県土整備部まとめ

出典：令和2年7月豪雨における被害の概要（R2.9 最上川上流・中流・下流(合同)大規模氾濫時減災対策協議会資料）

▲道路施設の被害状況

(1) 再度災害防止と応急対策

- 全面通行止箇所：観測機器や、う回路などの設置
- 片側交互通行箇所：大型土のう、背後に堆積ポケットの設置
- 即時通行箇所：流出土砂の撤去などを実施



1 (一)片倉塩線 (大蔵村南山) 道路欠損



2 (国)458号 (大蔵村南山) 土砂流出



3 (国)348号 (白旗町滝野) 路肩崩落

▲主な応急復旧の状況 (R2.9 現在)

(2) 市町村、関係機関と連携した取り組み

- 国から県への技術的支援：「TEC-FORCE 高度技術指導班(国土交通省)」の派遣要請
- 県から市町村への技術的支援：大江町、白鷹町、河北町に、災害査定に向けた準備・助言のため、砂防・災害対策課及び総合支庁の職員を派遣
- 市町村から県への協力：地域住民からの通報等を受けた被災箇所・被災状況の報告

施策5

人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進

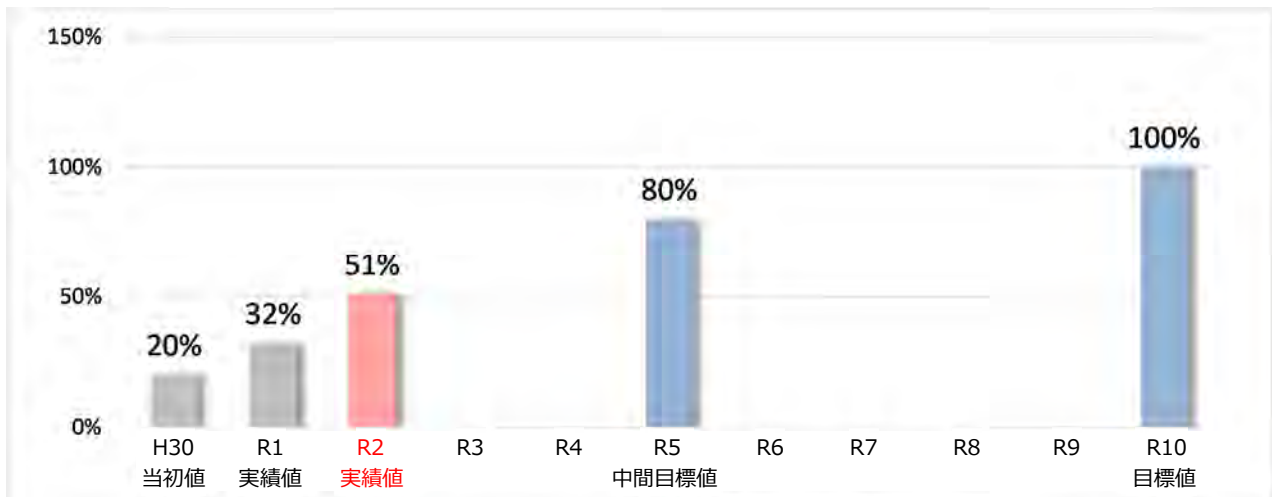
■取組方針

- i) 学校関係者、警察、地域、道路管理者が連携して通学路の点検を行い、歩道設置や交差点改良等の交通安全対策を優先的に実施
- ii) 進行する高齢化を見据え、子どもだけではなく高齢者や障がい者にも優しい歩行空間を創出（無電柱化による障害物除去、段差解消等）
- iii) 限られた予算内で広く効果を発現できるよう、多様な交通安全対策を実施（側溝整備等による幅広路肩の整備、路肩や交差点のカラーリング、植樹帯除去による道路空間の再配分など）

■指標

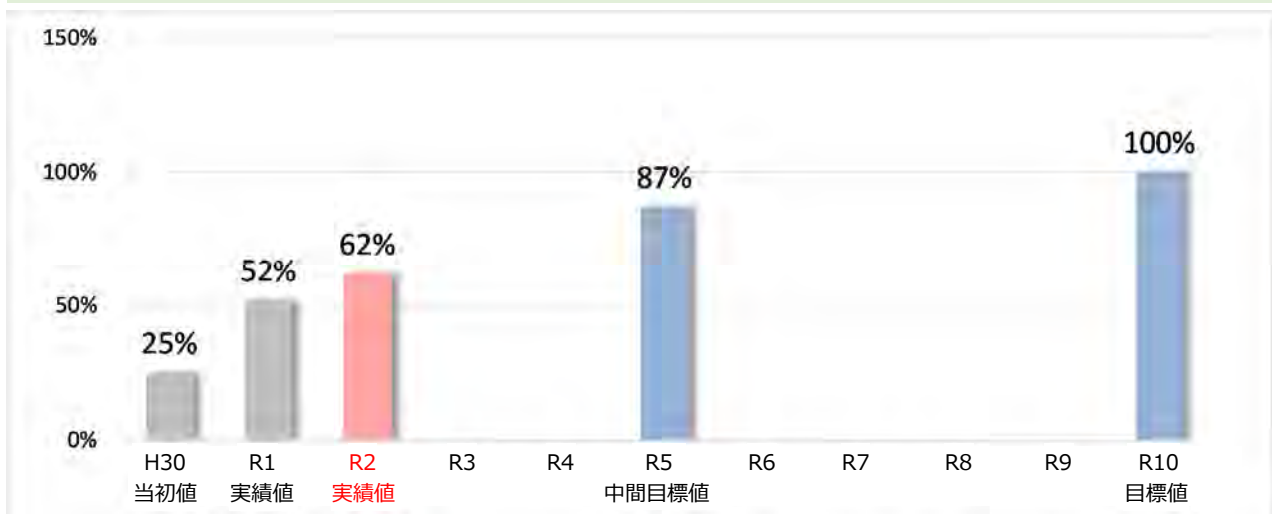
(1)通学路点検による要対策箇所の対策率[※]

(R1)32% ⇒ (R2)51%



(2)事故危険区間の対策率[※]

(R1)52% ⇒ (R2)62%



※通学路点検による要対策箇所及び事故危険区間はともに毎年更新されるが、いずれも2018年（平成30年）4月現在の数値を母数として目標設定する。

■実施事業例1

<p>事業名</p>	<p>(一) 東根尾花沢線 <small>じんまちなみ</small> (神町南工区) 歩道整備 <small>ひがしねしじんまちなみ</small> 東根市神町南地内</p>
<p>事業概要</p>	<p>一般県道東根尾花沢線は、東根市と尾花沢市を結ぶ幹線道路である。 当該箇所は、神町小学校の通学路を構成する幹線道路であるが歩道が無いため、児童が車道にはみ出て通学するなど、通学路合同点検においてその危険性が指摘されている。また、幅員も狭いことから、通勤時間帯には渋滞が発生するとともに、交通事故も多発している。</p> <p>本事業は、神町南交差点及びその南側区間において歩道整備を行うことで、通学時の交通安全確保を図るものである。</p>  <p style="text-align: right;">地図出典：(C) NTT インフラネット</p>
<p>整備内容</p>	<p>○歩道設置及び現道拡幅 L=180m、W=6.0(9.5)[12.5]m (令和2年度供用)</p> <p>(整備前) W=5.5 (7.0) m</p>  <p>至 村山市</p> <p>(整備後) W=6.0 (9.5) [12.5]m</p>  <p>至 村山市</p> <p>至 山形市</p>

■実施事業例2

<p>事業名</p>	<p>(主) 舟形大蔵線 (舟形工区) 歩道整備 <small>ふながた</small> <small>もがみくんふながたまち</small> <small>ふながた</small> 最上郡舟形町大字舟形 地内</p>
<p>事業概要</p>	<p>主要地方道舟形大蔵線は、舟形町と大蔵村を結ぶ道路であり、朝夕の通勤・通学路として、また、沿線地区住民の重要な生活道路として位置づけられている。</p> <p>当該区間は、舟形小及び舟形中学校の通学路に指定されているが、歩道がなく、積雪期間においては歩行者と通行車両とのすれ違いが特に危険であるため、歩道整備を行い児童及び生徒等歩行者の安全を確保するものである。</p> <p>また、平成24年8月に実施した通学路緊急合同点検においても要対策箇所として抽出され、改めて歩道整備の早期完成を求められたところである</p>  <p style="text-align: right; font-size: small;">地図出典：地図出典： (C) NTT インフラネット</p>
<p>整備内容</p>	<p>○歩道整備 L=280m、W=8.0(10.5)m (令和2年度供用)</p> <p>(整備前) W=6.6 (8.0) m (整備後) W=8.0 (10.5) m</p>  <p style="text-align: center;">至 大蔵村 至 大蔵村</p> <p style="text-align: center;">至 舟形町 至 舟形町</p>

■達成状況と今後の取組み

【令和2年度における達成状況】

路線名	箇所名（工区）	事業内容	備考	中期計画※
（一）東根尾花沢線	東根市神町南（神町南工区） （一部完了）	歩道整備	事例1	村山⑮
（主）舟形大蔵線	最上郡舟形町舟形（舟形工区）	歩道整備	事例2	最上⑪
（一）大塚米沢線	川西町荇	歩道整備		置賜⑩
（一）西米沢停車場線	米沢市中央	歩道整備		置賜⑬
（国）13号	南陽市鳥上坂	登坂車線整備 （直轄事業）		置賜⑰
（国）7号	鶴岡市覚岸寺	交差点改良 （直轄事業）		庄内⑮

など

【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	中期計画※
〔村山地域〕			
（一）十日町山形線	山形市飯田	歩道整備	村山⑫
（主）樽石基点線	村山市長善寺	歩道整備	村山⑬
（主）寒河江村山線	寒河江市中河原～河北町要害	歩道整備	村山⑭
（一）東根尾花沢線	東根市神町南（神町南工区）	歩道整備	村山⑮
（主）山形朝日線	山辺町山辺	歩道整備	村山⑯
（国）112号	山形市元木一丁目	交差点改良（直轄事業）	村山⑲

など

〔最上地域〕

（一）曲川新庄線	新庄市金沢	歩道整備	最上⑫
（国）47号	最上町若宮	歩道整備（直轄事業）	最上⑮

など

〔置賜地域〕

（主）米沢猪苗代線	米沢市丸の内	交差点改良	置賜⑪
（一）糠野目亀岡線	高畠町糠野目	歩道整備	置賜⑫
（国）287号	白鷹町菖蒲（1）	歩道整備	置賜⑭

など

〔庄内地域〕

（主）余目加茂線	三川町神花	歩道整備	庄内⑬
（一）円能寺砂越停車場線	酒田市中野俣	幅広路肩	庄内⑭

など

※「山形県道路中期計画 2028」における代表事例箇所の番号

施策6

予防保全型維持管理などによる計画的な道路設備の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進

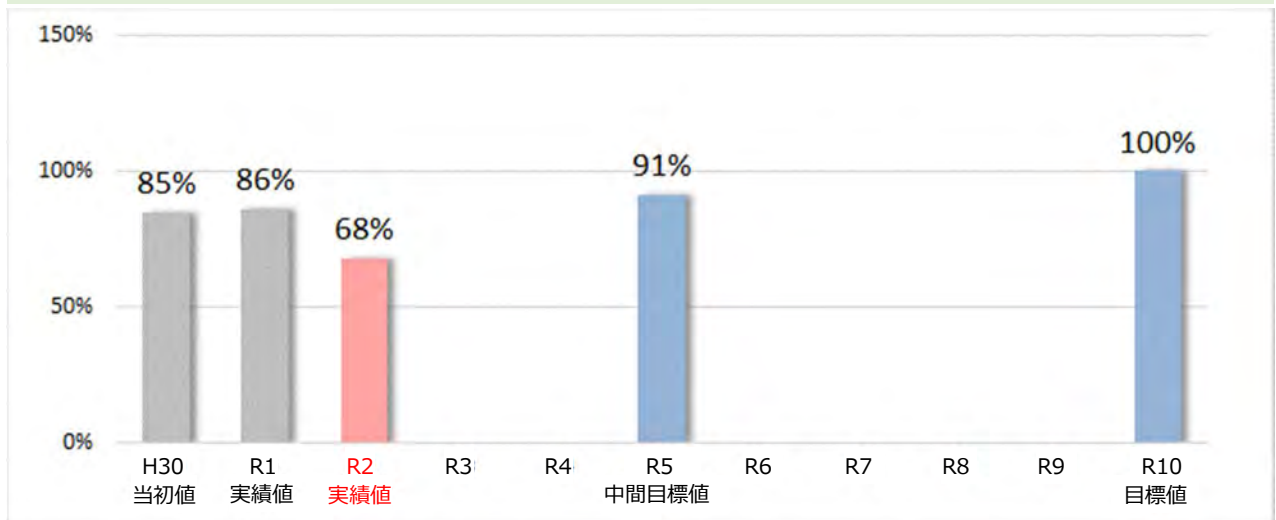
■取組方針

- i) 高度成長期に集中的に整備した橋梁の長期的な維持管理コスト縮減、予算の平準化を推進
- ii) トンネル等大型構造物について、定期点検を実施し、効果的・効率的な維持管理を実施
- iii) 舗装、雪寒施設等の道路施設について、調査・点検により状態を把握し、計画的な維持管理を実施
- iv) 円滑な交通を確保するため、的確な維持管理、除雪を実施
- v) 地域や企業、NPO等の力を活かした県民協働による効率的な維持管理を実施

■指標

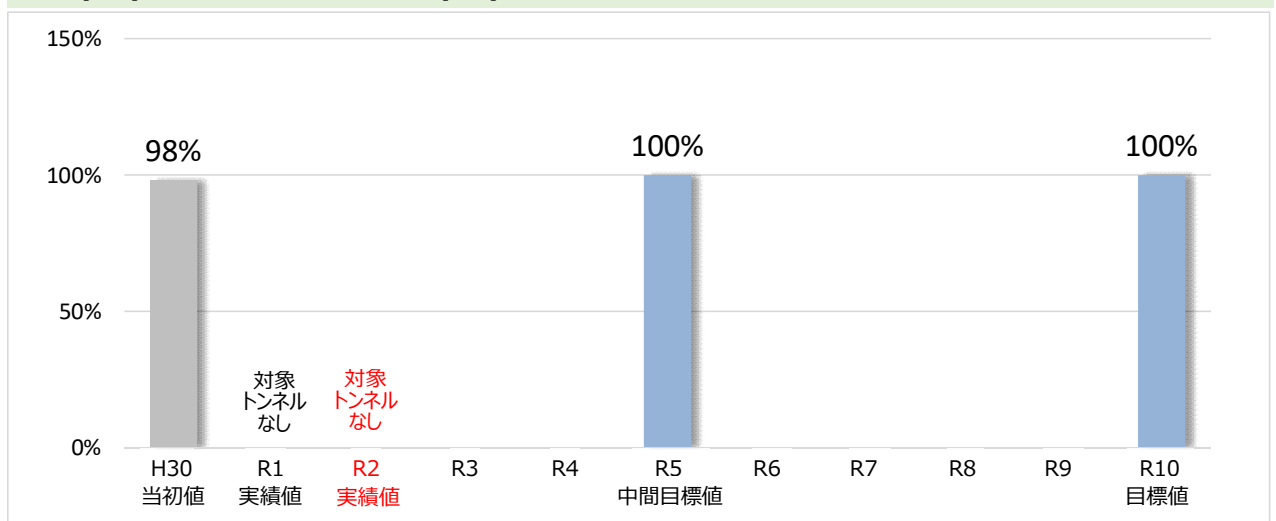
(1)健全度が低い橋の対策率*

(R1)86% ⇒ (R2)68%



(2)健全度が低いトンネルの対策率*

(R1)対象トンネルなし ⇒ (R2)対象トンネルなし



※各年度の点検結果に基づく対策率として診断後5年での対策率100%を毎年の目標に設定

R2の成果については、H27の点検において対策が必要とされたトンネルがなかったことから、対象なしとしている。

■実施事業例1

<p>事業名</p>	<p>(主) 長井白鷹線 (荒砥橋工区) 橋梁架替 <small>にしおきたまくんしらたかまちおおあざあゆかい</small> あらと 西置賜郡白鷹町大字鮎貝～荒砥 地内</p>
<p>事業概要</p>	<p>主要地方道長井白鷹線は長井市と白鷹町を結ぶ路線で、荒砥橋は白鷹町鮎貝地区と荒砥地区を結ぶ重要な道路である。</p> <p>車道幅員が狭く大型車同士がすれ違うことが困難な状況である。このことから、本事業は荒砥橋の架替を行い、安全安心な通行を確保するものである。</p>  <p style="text-align: right;">地図出典：(C) NTT インフラネット</p>
<p>整備内容</p>	<p>○橋梁架替 $L=323.3m$、$W=6.0(9.0)[16.0]m$ (令和2年度供用)</p> <p>白鷹大橋全景 至 白鷹町鮎貝</p>  <p>至 白鷹町荒砥</p> <p>(整備前) 荒砥橋 (整備後) 白鷹大橋</p> 

■実施事業例2

<p>事業名</p>	<p>(国) 112号 (田^た麦^{むぎ}橋) 橋梁補修 <small>つるおかし たむぎまた</small> 鶴岡市田麦俣地内</p>
<p>事業概要</p>	<p>国道 112 号は山形市から鶴岡市を經由して、酒田市に至る重要な路線である。 本橋は、点検により主桁や床版の劣化が見られたことから、桁塗装、床版下部工断面の補修などを行い、橋梁の長寿命化を図ったものである。</p>  <p style="text-align: right; font-size: small;">地図出典：(C) NTT インフラネット</p>
<p>整備内容</p>	<p>○桁塗装、床版断面補修 L=150m、W=7.5m (令和2年度完了)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(整備前)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(整備後)</p>  </div> </div> <p>桁塗装</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>床版断面補修</p>

■実施事業例 3

<p>事業名</p>	<p>(主) 山形山辺線 (江俣こ線橋) 橋梁補修 <small>えまた</small> <small>やまがたしえまた</small> 山形市江俣地内</p>
<p>事業概要</p>	<p>本橋は、山形市を南北に結ぶ西バイパスを構成する重要な路線である。点検により、伸縮装置や下部工の劣化が見られたことから、伸縮装置の交換や下部工断面の補修などを行い、橋梁の長寿命化を図ったものである。</p>  <p style="text-align: right; font-size: small;">地図出典：(C) NTT インフラネット</p>
<p>整備内容</p>	<p>○伸縮装置交換、下部工断面補修 L=150m、W=7.5m (令和2年度完了)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(整備前)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(整備後)</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>伸縮装置交換</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>下部工断面補修</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> </div>

■達成状況と今後の取組み

【令和2年度の達成状況】

路線名	工区名（箇所）	事業内容	備考	中期計画※
（主）長井白鷹線	白鷹町鮎貝～荒砥	荒砥橋架替	事例1	置賜⑱
（国）112号	鶴岡市田麦俣（田麦橋）	橋梁補修	事例2	
（主）山形山辺線	山形市江俣（江俣こ線橋）	橋梁補修	事例3	

など

【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	中期計画※
-----	-----	------	-------

〔村山地域〕

（主）山形山寺線	山形市荒谷	荒谷橋架替	村山⑳
（主）山形山寺線	山形市十文字	高瀬川橋架替	村山㉑
（主）大江西川線	大江町月布	月布橋架替	村山㉒

など

〔最上地域〕

（一）曲川新庄線	鮭川村曲川	居口橋架替	最上㉓
----------	-------	-------	-----

など

〔庄内地域〕

（国）345号	鶴岡市大宝寺	西三川橋補修	庄内㉔
（主）酒田港線	酒田市御成町	御成跨線橋補修	庄内㉕
（国）112号	酒田市本町	実生橋架替	庄内㉖

など

※「山形県道路中期計画 2028」における代表事例箇所の番号

3 既存ストックを有効活用し快適な暮らしと地域の活力を生み出すみちづくり

施策7 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進

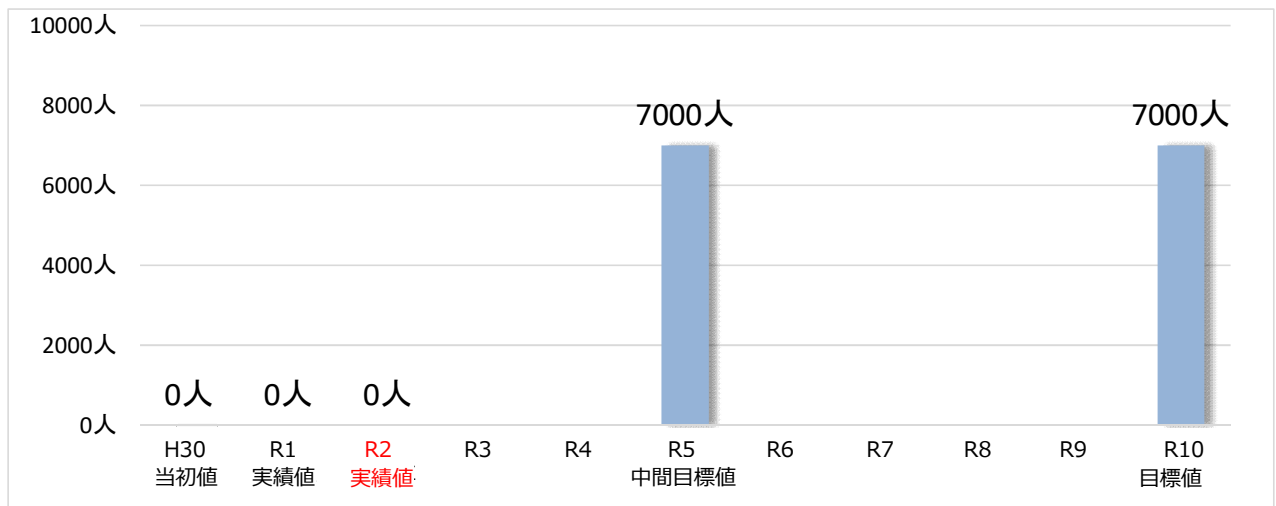
■取組方針

- i) 一般国道や主要な県道において道路の改築・拡幅やバイパスの整備を推進
- ii) 地域の実情に応じた効率的な整備を推進(交通量の少ない道路の部分的な拡幅や待避所の設置、屈曲部の視距改良など)

■指標

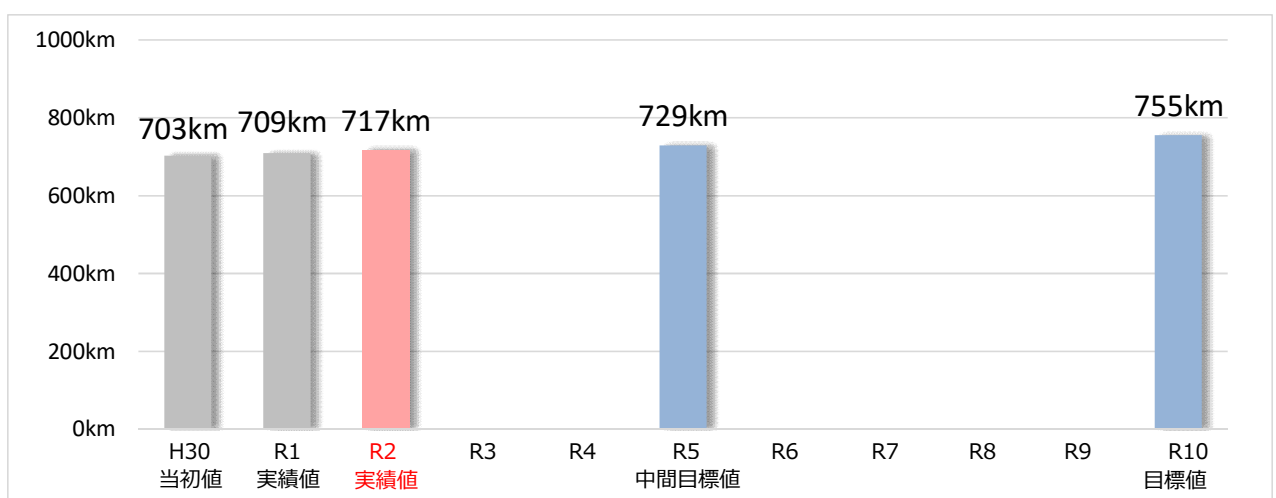
(1)緊急医療機関へ新たに10分でアクセスが可能になる人口

(R1)0人 ⇒ (R2)0人



(2)冬期の円滑な交通が確保された堆雪幅のある道路延長

(R1)709km ⇒ (R2)717km



■実施事業例1

<p>事業名</p>	<p>(主) 鶴岡羽黒線 ^{はぐろさん} (羽黒山バイパス) <small>つるおかし はぐろまちとうげ</small> 鶴岡市羽黒町手向地内</p>
<p>事業概要</p>	<p>主要地方道鶴岡羽黒線は、鶴岡市街地と県内有数の観光地である羽黒山を結ぶ重要な道路である。</p> <p>本区間の現道は幅員が狭いうえ、急カーブ・急勾配が連続する道路となっている。本区間の整備により安全で円滑な通行を確保するとともに、観光振興などの地域活性化にも資するものである。</p> <div data-bbox="480 539 1329 983" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">地図出典：Copyright(c) N T T 空間情報 All Rights Reserved</p>
<p>整備内容</p>	<p>○バイパス整備 L=3,220m(1,470m)、W=6.5(9.5)[12.0]m (令和2年度供用) (整備前)</p> <div data-bbox="421 1155 1383 1471" data-label="Image"> </div> <p>(整備後)</p> <div data-bbox="641 1541 1142 1915" data-label="Image"> </div>

■実施事業例2

<p>事業名</p>	<p>(主) 山形山辺線 (吉野宿) <small>よしのじゅく</small> <small>やまがたし うちおもて すしあらい</small> 山形市内表～鮎洗 地内</p>
<p>事業概要</p>	<p>主要地方道山形山辺線は、山形市中心部と山辺町を結ぶ幹線道路である。 当路線の現道は幅員も狭小な上、線形も悪く交通の支障となっている。特に冬期間は歩道幅員も狭く滞雪帯も無いため、歩行者の通行に特に支障となっている状況である。 当工区の整備により、平成 18 年度に供用した一般県道大野目内表線と接続し、山形西部の東西の骨格道路として都市交通の円滑化が図られるとともに地区の発展に寄与することが期待される。</p>  <p style="text-align: right; font-size: small;">地図出典：(C) NTT インフラネット</p>
<p>整備内容</p>	<p>○バイパス整備 $L=2,100m$、$W=6.5 \times 2(21.0)[32.0]m$ (令和 2 年度供用) (整備前：旧道)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>至 山形市 至 山辺町</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>(整備状況)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>至 山辺町 令和2年6月15日撮影 至 山形市</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>至 山形市 令和2年10月7日撮影 至 山辺町</p> </div> </div>

■達成状況と今後の取組み

【令和2年度の達成状況】

路線名	工区名（箇所）	事業内容	備考	中期計画※
（主）鶴岡羽黒線	羽黒山バイパス（鶴岡市手向）	道路改築	事例 1	庄内⑱
（主）山形山辺線	山形市吉野宿	道路改築	事例 2	

など

【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	中期計画※
〔村山地域〕			
（国）458号	中山町金沢	道路改築	村山⑲
（国）287号	朝日町杉山（2）	道路改築	村山⑳
（一）東山七浦線	山形市風間	道路改築	村山㉑

など

〔最上地域〕

（主）新庄戸沢線	新庄市升形	踏切立体化（下馬踏切）	最上⑰
（主）真室川鮭川線	鮭川村佐渡坂	道路改築	最上⑱
（一）砂子沢小又釜淵線	真室川町小又	道路改築	最上⑲
（主）真室川鮭川線	真室川町釜淵	視距改良	最上⑳
（一）東法田大堀線	最上町野頭	道路改築	最上㉑

など

〔置賜地域〕

（主）長井飯豊線	飯豊町手ノ子	道路改築	置賜㉒
（主）玉川沼沢線	小国町百子沢	道路改築	置賜㉑
（主）山形南陽線	南陽市板宮	道路改築	置賜㉒

など

〔庄内地域〕

（国）344号	酒田市安田	安田バイパス	庄内㉓
（一）浜中余目線	酒田市広野	道路改築	庄内㉑
（主）菅野代堅苔沢線	鶴岡市山五十川（1）	道路改築	庄内㉒

など

※「山形県道路中期計画 2028」における代表事例箇所の番号

施策8

街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進

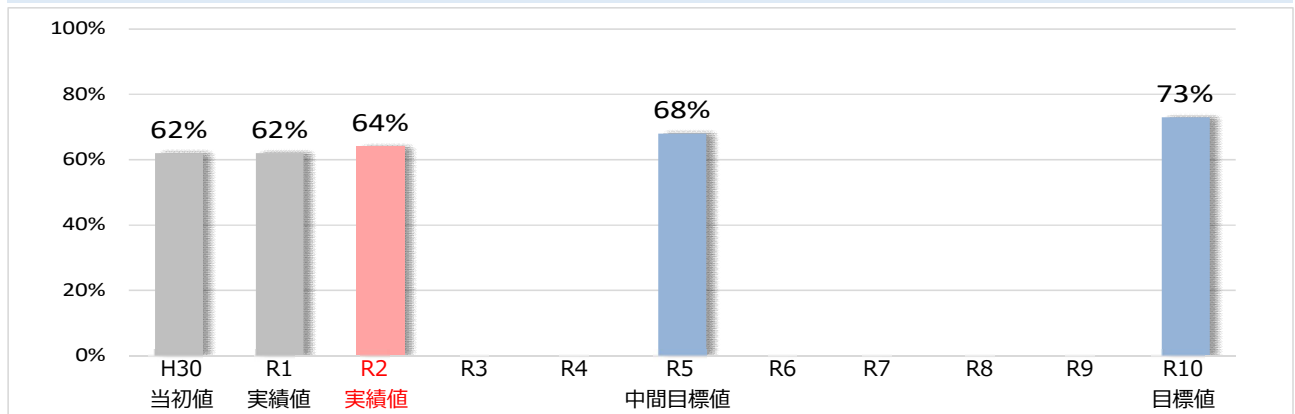
■取組方針

- i) 都市部における街路事業の整備を推進
- ii) 良好な景観を創出する無電柱化を推進
- iii) バイパス整備等の対策を実施した箇所については、最新データや地域の実際の交通状況を踏まえ主要渋滞箇所の見直しを実施

■指標

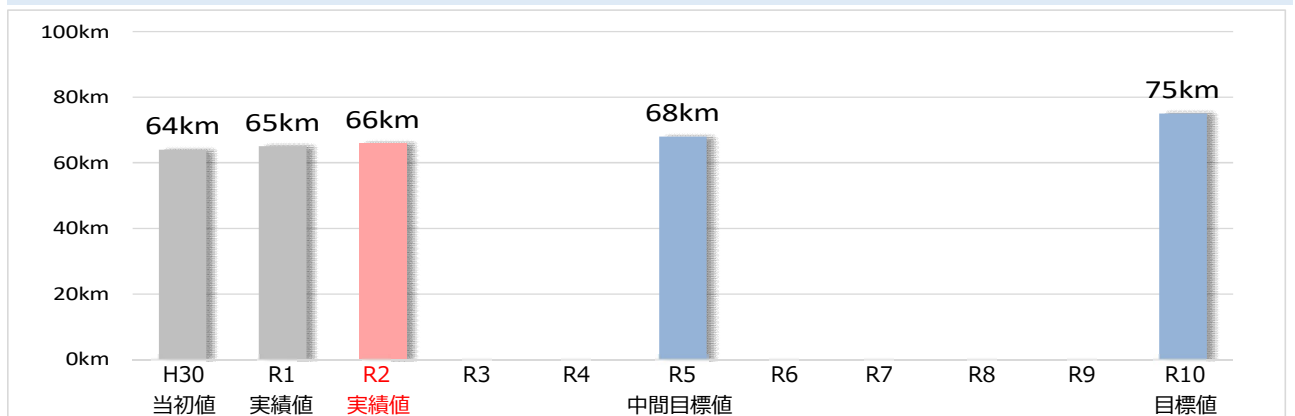
(1) 都市機能誘導区域・中心市街地活性化区域内の都市計画道路の整備率

(R1)62% ⇒ (R2)64%



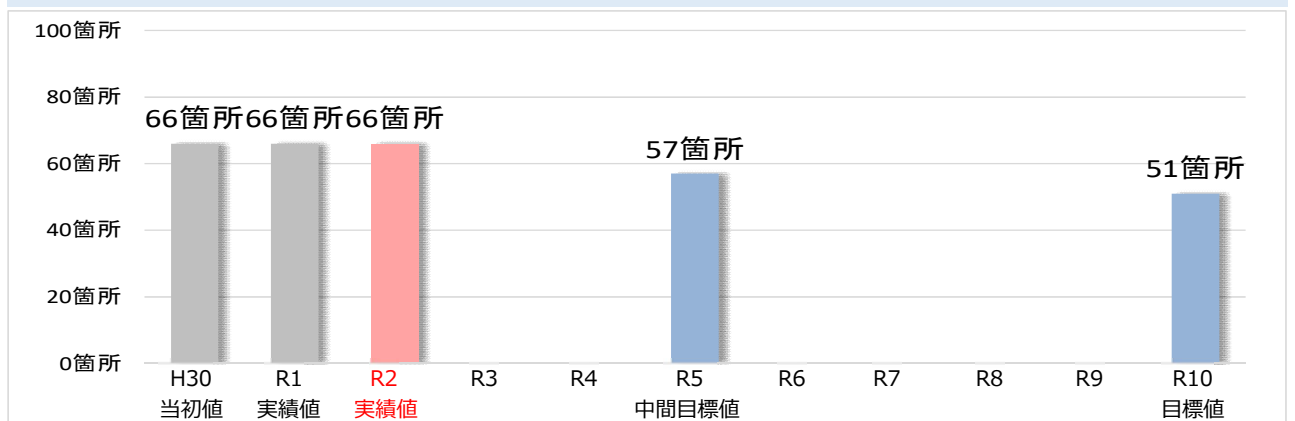
(2) 無電柱化の整備延長

(R1)65km ⇒ (R2)66km



(3) 市街地エリアにおける主要渋滞箇所数

(R1)66箇所 ⇒ (R2)66箇所



■実施事業例1

<p>事業名</p>	<p>(都) 旅籠町八日町線 ^{なぬかまち} (七日町工区)</p>
<p>事業概要</p>	<p>都市計画道路旅籠町八日町線は、山形市を南北に縦断し、山形市都市計画マスタープランにおいて、JR 山形駅周辺の連携を強化する駅環状道路や商業地へのアクセスを支える都心リングとして位置付けられた道路である。当該区間は第1次緊急輸送道路であるが、南方面への一方通行となっていることから道路ネットワークとしての機能が発揮されていない状況であった。</p> <p>当該区間の整備により、山形市立済生館病院（1次災害医療拠点）に直結する区間の4車化と無電柱化が完了し、都市防災機能の強化を図られた。また、この整備に合わせ、子育て支援施設「あ〜べ」が沿線に移転するなど、中心市街地の活性化にも寄与した事業である。</p>  <p style="text-align: right;">地図出典：(C) NTT インフラネット</p>
<p>整備内容</p>	<p>○現道拡幅 L=279m (R2.9 全線供用) (令和2年度供用)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(整備前)</p>  <p>至 山形市香澄町</p> <p>至 国道112号</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(整備後)</p>  <p>至 山形市香澄町</p> <p>至 国道112号</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;">  <p>本事業に伴い新しく整備された立体駐車場「N-GATE」(H29.3 オープン) の中に子育てランド「あ〜べ」が移転</p> </div>

■達成状況と今後の取組み

【令和2年度までの取組み】

路線名	箇所名	事業内容	中期計画※
(都) 旅籠町八日町線	山形市七日町	街路整備	村山⑳

【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	中期計画※
[村山地域]			
(都) 旅籠町八日町線	山形市本町	街路整備	村山㉔
(都) 東原村木沢線	山形市木の実町	街路整備	村山㉕
(主) 上山蔵王公園線	山形市蔵王温泉(3)	歩道・無電柱化	村山㉖

など

[最上地域]

(都) 北本町飛田線	新庄市新町	街路整備	最上㉗
------------	-------	------	-----

など

[置賜地域]

(都) 赤湯停車場線	南陽市二色根	街路整備	置賜㉘
(都) 桐町成田線	長井市本町	街路整備	置賜㉙

など

[庄内地域]

(都) 道形黄金線	鶴岡市馬場町	街路整備	庄内㉚
(都) 豊里十里塚線	酒田市山居町～上本町	街路整備	庄内㉛
(都) 本町東大町線	酒田市本町(1)	街路整備	庄内㉜

など

※「山形県道路中期計画 2028」における代表事例箇所の番号

施策9

山形の特徴を活かした道路ストック(施設)をかしこく使うみちづくりの推進

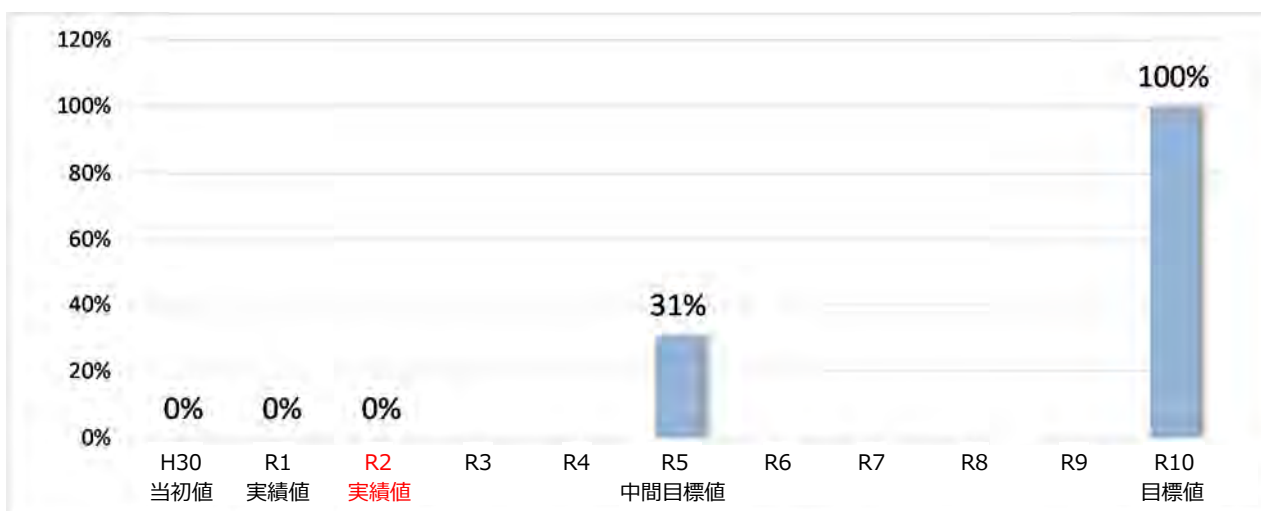
■取組方針

- i) 自転車の利用環境を整備するため、自転車の通行区間として利用できる冬季の堆雪幅を確保した“山形らしい”みちづくりを推進
- ii) 県外・国外からの来訪者にも分かりやすい道路標識の整備を推進
- iii) プローブ情報を用いた渋滞対策・交通安全対策の検討及び実施

■指標

(1) 県及び市町村の自転車ネットワーク計画に位置付けられた県管理道路における自転車利用環境整備率

(R1) 0% ⇒ (R2) 0%







※現時点ではネットワーク計画が策定されているのが山形県と寒河江市のみであるため、他市町村のネットワーク計画が策定された時点で、目標値の変更を行う予定。

■実施事業例1

<p>事業名</p>	<p>山形県自転車ネットワーク計画の策定</p>
<p>事業概要</p>	<p>山形県自転車ネットワーク計画は、山形県自転車活用推進計画の一部に位置付けられる計画であり、県民や外から訪れる観光客等の自転車利用を促進するため、市町村跨ぐ広域のエリアを対象に、主要な観光地等結び安全で快適自転車通行空間を創出する広域的な自転車ネットワークを構成するサイクリングモデルルート（以下、「広域的なサイクリングモデルルート」という。）を設定し、その整備方針やサイクリストの受入環境の整備方針等を定めることを目的に R3 年 3 月に策定した。</p> <p> — 基幹ルート — 地域ルート </p> <p>※輸送推奨区間：交通量が多く道路の幅員が狭いため、輸送（鉄道等を使用して自転車運ぶこと）をおすすめする区間。バイパス開通後にモデルルートとして推奨する。</p> <p> 出発地 ■ 空港 ■ 鉄道駅 ■ 道の駅 </p> <p> 目的地 ● 温泉 ● 名所・旧跡 ● その他観光地等 </p> <p>出典：山形県自転車ネットワーク計画（R3.3）</p> <p>▲広域的なサイクリングモデルルート</p>

■実施事業例2

<p>事業名</p>	<p>山形県自転車ネットワーク計画に基づく整備（歩道設置） <small>ふながたまちふながた</small> 舟形町舟形 地内</p>
<p>事業概要</p>	<p>山形県では、山形県自転車ネットワーク計画に位置付けられた路線において道路改良や交通安全対策を実施する場合は、計画に基づき自転車通行空間の整備を進めている。</p> <p>R2年度は、山形県自転車ネットワーク計画の地域ルート（C12）に位置付けられた主要地方道舟形大蔵線（舟形工区）において、縁石のエプロンを無くして自転車の通行空間を確保する整備を実施したものの。</p> 
<p>整備内容</p>	<p>○歩道設置 （整備前）</p>  <p>（従来の施行）</p>  <p>（整備後）</p>  <p>エプロンを無くすことで段差が無くなり、自転車の通行空間が確保される</p>

■実施事業例3

<p>事業名</p>	<p>寒河江市自転車活用推進計画（自転車ネットワーク計画）の策定に基づく整備</p>
<p>事業概要</p>	<p>寒河江市では、市の中心部における自転車利用者の安全対策、市内各拠点の交通ネットワーク化による市民の利便性・快適性の向上、自転車の活用による観光振興や地域活性化の推進に向け、H30 年度に寒河江市自転車活用推進計画（自転車ネットワーク計画）を策定し、安全で快適な自転車通行空間の整備を進めている。</p> <p>R2 年度は、ネットワーク計画に位置付けられた寒河江市道 1.4km の自転車通行空間を整備したものの。</p>  <p>出典：寒河江市自転車活用推進計画（自転車ネットワーク計画）（H31.3）</p> <p>▲寒河江市自転車ネットワーク計画図</p>  <p>▲矢羽根型路面表示とピクトグラム</p> <p>※市道のため、指標値（県道の整備延長）は変化しない。</p>

■実施事業例4

<p>事業名</p>	<p>国道 112 号 ほっとなる通り 自転車道改良整備（消融雪設備・排水施設整備） <small>やまがたしとうかまち なぬかまち</small> 山形市十日町～七日町地内</p>
<p>事業概要</p>	<p>山形市内の国道 112 号「ほっとなる通り」（山形市十日町～山形市七日町）の 1.0km 区間において、雨天時や積雪時における自転車道の走行環境改善を目的に、自転車道への消融雪設備と排水施設の整備を実施したもの。</p>  <p style="text-align: right; font-size: small;">地図出典：Copyright(c) N T T 空間情報 All Rights Reserved</p>
<p>整備内容</p>	<p>○自転車道改良整備（消融雪設備・排水施設整備） L=1,000m 自転車道幅員 W=1.5m （令和 2 年度全線完成）</p> <p>（整備前）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="552 1160 927 1503"> <p>積雪時の状況</p>  <p>積雪時、自転車走行に支障</p> </div> <div data-bbox="927 1160 1294 1503"> <p>雨天時の状況</p>  <p>雨天時、自転車走行に支障</p> </div> </div> <p style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">↓</p> <p>（整備後）</p> <div style="display: flex; justify-content: center;"> <div data-bbox="560 1570 1286 1921">  <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px; color: red; font-weight: bold;"> 悪天時でも快適な走行空間を確保 ・消融雪設備の整備により、積雪なし ・排水施設（暗渠型側溝）整備により、水たまりなし </div> </div> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">出典：山形河川国道事務所 記者発表資料(R2.12.18)</p>

■達成状況と今後の取組み

【令和2年度までの取組み】

山形県自転車活用推進計画の策定（R1.8）
山形県自転車ネットワーク計画の策定（R3.3）
寒河江市自転車活用推進計画の策定（H31.3）

【今後の取組み】

山形県自転車ネットワーク計画に基づく整備
寒河江市自転車ネットワーク計画に基づく整備

3 総括

■山形県道路中期計画指標 令和2年度の達成状況

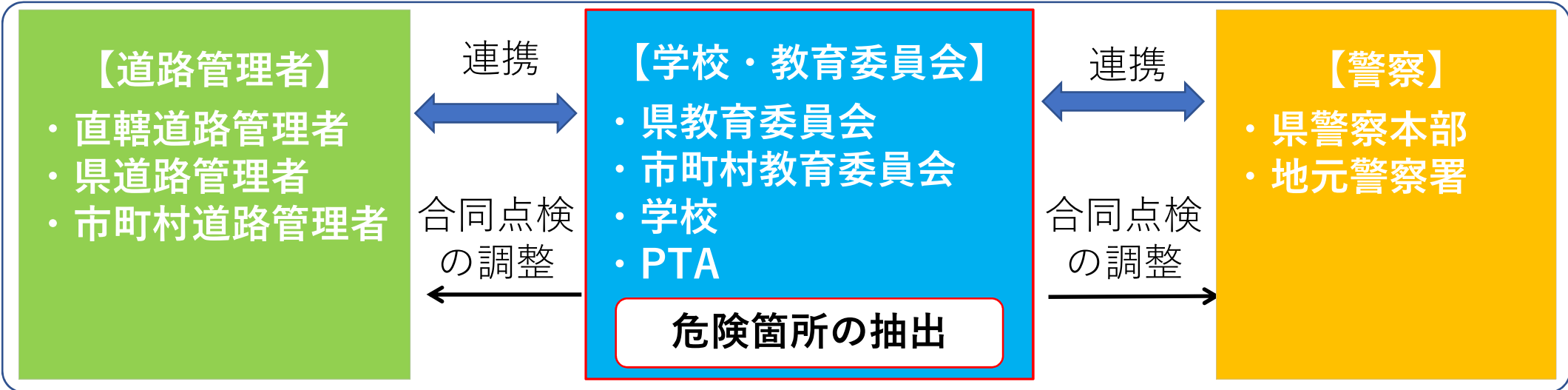
- 19の指標のうち、**8つの指標**で前年度からの進捗が見られた。
- その他の指標については、前年度から変化がないものもあるが、高規格幹線道路の多くの区間がR8年度までの開通見通しとなっているなど、今後効果が表れることが期待されるため、目標値の達成に向け概ね予定通り事業が進捗していると判断できる。
- 今年度についても、R10年度末目標値の達成に向け、予定通り事業を進めていく。

9つのみちづくり施策	指標名	当初値 ※H30年度末	R元実績値 (前年からの変化)	R2実績値 (前年からの変化)	中間目標値 ※R5年度末	目標値 ※R10年度末
1 県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手	(1) 高速道路の供用延長（供用率）	259km (76%)	259km (76%) (変化なし)	264km (78%) (+5km、2%)	293km (86%)	320km (94%)
	(2) 地域高規格道路の供用延長（供用率）	29km (29%)	29km (29%) (変化なし)	29km (29%) (変化なし)	42km (42%)	56km (56%)
2 広域道路ネットワークを活かす追加IC（スマートIC含む）及びICや拠点へのアクセス道路の整備推進	(3) ICへ30分でアクセスできる人口の割合	65%	65% (変化なし)	65% (変化なし)	73%	97%
	(4) ICへ10分でアクセスできる工業団地数	35箇所	35箇所 (変化なし)	35箇所 (変化なし)	43箇所	65箇所
	(5) ICへ30分でアクセスできる主要な観光地数	59箇所	59箇所 (変化なし)	59箇所 (変化なし)	79箇所	109箇所
3 高速道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援	(6) 山形らしい魅力のある「やまがた道の駅」数	21駅	21駅 (変化なし)	21駅 (変化なし)	22駅	30駅
	(7) 防災拠点機能を備えた「道の駅」数	4駅	4駅 (変化なし)	6駅 (+2駅)	7駅	10駅
4 防災・減災に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化	(8) 緊急輸送道路における橋梁耐震化率	96%	97% (+1%)	97% (変化なし)	99%	100%
	(9) 重要インフラ緊急点検による要対策箇所の対策率	-	22% (-)	34% (+12%)	65%	100%
5 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進	(10) 通学路点検による要対策箇所の対策率	20%	32% (+12%)	51% (+19%)	80%	100%
	(11) 事故危険区間の対策率	25%	52% (+27%)	62% (+10%)	87%	100%
6 予防保全型維持管理などによる計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進	(12) 健全度が低い橋の対策率	85%	86% (+1%)	68% (-18%)	91%	100%
	(13) 健全度が低いトンネルの対策率	98%	対象トンネルなし (-)	対象トンネルなし (-)	100%	100%
7 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進	(14) 救急医療機関へ新たに10分でアクセスが可能になる人口	-	0人 (-)	0人 (変化なし)	7,000人	7,000人
	(15) 冬季の円滑な交通が確保された堆雪幅のある道路延長	703km	709km (+6km)	717km (+8km)	729km	755km
8 街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進	(16) 都市機能誘導区域・中心市街地活性化区域内の都市計画道路の整備率	62%	62% (変化なし)	64% (+2%)	68%	73%
	(17) 無電柱化の整備延長	64km	65km (+1km)	66km (+1km)	68km	75km
	(18) 市街地エリアにおける主要渋滞箇所数	66箇所	66箇所 (変化なし)	66箇所 (変化なし)	57箇所	51箇所
9 山形の特性を活かした道路ストック（施設）をかしこく使うみちづくりの推進	(19) 県及び市町村の自転車ネットワーク計画に位置付けられた県管理道路における自転車利用環境整備率	-	0% (-)	0% (変化なし)	31%	100%

通学路の交通安全対策について

通学路の交通安全対策に関する取組みについて

通学路合同点検の流れ



合同点検の実施

対策必要箇所の抽出

担 当	主な対策
学校・教育委員会、PTA	交通安全指導、見守り活動
警察	信号表示時間の変更、横断歩道設置、道路標識、パトロール強化
道路管理者 (直轄、県、市町村)	歩道設置、防護柵設置、路面標示、警戒標識、グリーンベルト

通学路の交通安全対策に関する取組みについて

対策内容(例)

①歩道のある交差点

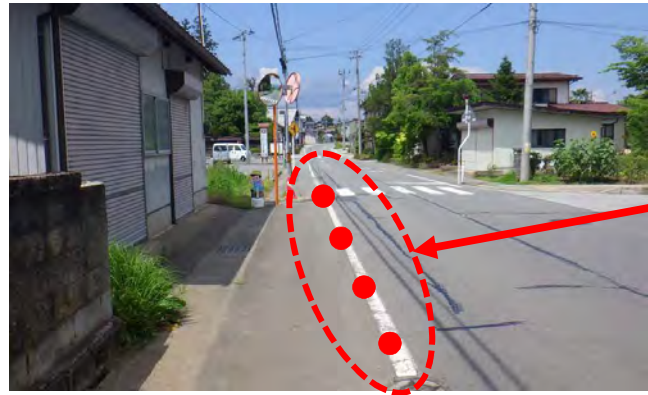


ガードパイプ



ボラード

②歩道を作ることができない直線道路



ポストコーン

対策実施(例)

(主) 上山七ヶ宿線 (上山市長清水地内)



【対策前】



【対策後】



ガードパイプ、ボラード (車止め)を四隅に設置

通学路の交通安全対策に関する取り組みについて

今後の取り組みについて

生活道路の交通安全に係る新たな連携施策「ゾーン30プラス」

- 最高速度30km/hの区域規制と物理的デバイスとの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域を「ゾーン30プラス」として設定

- 道路管理者と警察が緊密に連携し、地域住民等の合意形成を図りながら、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間を整備



<警察による交通規制>



<道路管理者による物理的デバイスの設置>



R3. 8. 26国土交通省プレスリリース資料より抜粋

通学路における交通安全対策に係る個別補助制度(交通安全対策補助制度(通学路緊急対策))の創設

別紙2

- 千葉県八街市における交通事故を受けて実施した通学路合同点検に基づき、ソフト対策の強化とあわせて実施する交通安全対策について、計画的かつ集中的な支援を可能とする個別補助制度を創設する。(令和4年度予算:500億円)

■ 交通安全対策補助制度(通学路緊急対策)の創設

- 令和3年6月28日、千葉県八街市において、下校中の小学生の列にトラックが衝突し、5名が死傷する痛ましい交通事故が発生。
- この事故を受けて、「通学路等における交通安全の確保及び飲酒運転の根絶に係る緊急対策(令和3年8月4日関係閣僚会議決定)」に基づく通学路合同点検を実施。
- 点検により抽出された対策必要箇所における交通安全対策について、速度規制や通学路の変更などソフト面での対策を組み合わせつつ、可能なものから速やかに実施することとなり、早急に対策を実施できるよう地方公共団体に対して計画的かつ集中的な支援が必要。

※地方公共団体が実施する交通安全対策については、従前、主に防災・安全交付金により支援

- 通学路合同点検に基づき、ソフト対策の強化と合わせて実施する交通安全対策に対し、計画的かつ集中的に支援【補助期間:5年程度(R4~)】



通学路緊急対策

- 通学路合同点検の結果、抽出された対策必要箇所における道路管理者による交通安全対策が対象

歩道・防護柵の整備



物理的デバイス(スムーズ横断歩道※)の設置



右折レーンの整備(渋滞解消→通り抜け車両の抑制)



「令和4年度道路局関係予算決定概要 (R3. 12. 24国土交通省道路局)」より抜粋

今年度、新たに創設された

- ◆生活道路の交通安全に係る新たな連携施策「ゾーン30プラス」
- ◆交通安全対策補助制度(通学路緊急対策)

等も活用しながら、引続き、学校・教育委員会、警察と連携し、通学路の交通安全対策の推進を図る。

令和3年度 第2回山形のみちづくり評議会 議事要旨

■ 日時

令和4年2月9日（水）14：00～15：30

■ 出席委員

柴田会長、貝山委員、大泉委員、塩原委員、津藤委員、宮原委員、佐藤委員、芹沢委員、橋本委員、前内委員 10名

■ 議事

議題1 令和2年度 道路事業の達成度報告

議題2 通学路の交通安全対策について

議題3 「山形南道路」の新規事業化に向けた取り組みについて

■ 議事概要

議題1 令和2年度 道路事業の達成度報告

・事務局より議題に関して、以下の説明を行った。

1)令和2年度 達成度報告書 資料1

・令和2年度達成度報告書について委員より意見を頂いた。

議題2 通学路の交通安全対策について

・事務局より議題に関して、以下の説明を行った。

2)通学路の交通安全対策について 資料2

・通学路の交通安全対策について委員より意見を頂いた。

議題3 「山形南道路」の新規事業化に向けた取り組みについて

・事務局より議題に関して、以下の説明を行った。

3)国道112号山形南道路 第1回計画段階評価 資料3

・「山形南道路」の新規事業化に向けた取り組みについて委員より意見を頂いた。

■ 第2回山形のみちづくり評議会における主な意見

各議題について、以下のような意見が挙げられた。

議題1 令和2年度 達成度報告について

(1) 賑わいを創出する道路整備について

- ・ 施策8街中のみちづくりに対し、植栽なども含め、居心地の良い空間、活動、賑わいを創出する要素も検討して欲しい。

(2) 道の駅の機能強化について

- ・ 道の駅は地域とのつながりが大切である。情報発信など、地域と共に考えてほしい。
- ・ 地域との連携を深められるよう、事例などの発信の強化をお願いしたい。
- ・ 道の駅の防災施設は、道路管理者と地域と双方で頑張ってもらいたい。

議題2 通学路の交通安全対策について

- ・ ハンプ等を整備し、実際より狭く見せることで30 km/hより走りにくい道路にするなど工夫が必要。
- ・ 通学路に関して、学校、道路管理者、警察がお互いに何ができるか、検討して欲しい。
- ・ 通学路の除雪について、雪の壁が出来て見通しが悪く、通学児童が飛び出してくることもあり危険である。
- ・ メディアを使ったキャンペーンを実施することにより、横断歩道で車が止まるようになった例もあるので、マスコミの活用も検討されたい。

議題3 「山形南道路」の新規事業化に向けた取り組みについて

- ・ 山形市内も交通量が増えていて、道路整備が追い付いていない。必要な道路を必要だと声をあげる必要がある。

(その他)

- ・ 市道と県道の境界などの除雪の連携をお願いしたい。
- ・ 橋の長寿命化、補修は住民にはわかりづらい内容なので引き続き行政で点検を定期的に行って欲しい。

以上